

「私学助成全国署名集約・ 私学の学費問題を考える院内集会」のご案内

2010年12月10日(金) 10時30分～12時30分 衆議院第1議員会館大会議室

公立高校の無償化のなかで、残された3分の1の私立高校生の学費負担問題が大きな課題になってきています。就学支援金が支給されても私立高校の学費滞納は相変わらず高い水準で推移しており、学校現場や自治体では就学支援金制度そのものの改善も議論され、就学支援金制度の改善と各県での授業料補助制度の整合性の課題など、私立高校の学費負担問題の解決には多くの課題が残されています。

私達は4月以降、「私立高校の実質無償化をすすめてください」の全国統一署名(286万筆)、6月20日の「We・私学 私学も無償に銀座パレード」(3,200名)、20都道府県での私学フェスティバル・私学のつどいの開催、10月23・24日の全国高校生1万人行動、秋の私学助成全国署名と、全国の私学関係者がひとつになった運動を取り組んできました。

この度、秋の私学助成全国署名の集約を兼ねた「私学の学費負担問題を考える院内集会」を下記の要項で開催します。国会議員の先生方多数の参加のもと、全国からの私学の保護者、教職員、高校生とで私学の学費問題解決の意見交換を予定しております。

国会議員・地方議員の皆様、教育関係者・市民・報道関係者の方々、一緒に私学の学費・学費負担のこと、私学助成のこと、私学の無償化について考えてみましょう。

- 10:30 開会
- 主催者挨拶
 - ・福嶋 要(私学全国父母懇・すすめる会代表)
 - ・小村英一(全国私教連委員長)
- 国会議員の皆様からの激励のご挨拶
- 報告:永島民男(全国私教連書記長)
 - ① 国の就学支援金と県単授業料助成によって私学の学費負担軽減はどこまですすんだのか
 - ② 私立高校生の学費問題の深刻さと私学の実質無償化への展望
- 意見表明
 - ・高校生 神奈川・愛知・兵庫・岡山・山口
 - ・保護者 青森・新潟・大阪・京都・福岡
 - ・教職員 岩手・長野・茨城・東京・熊本
- 12:30 閉会

**主催：私学全国父母懇談会・私学助成をすすめる会連絡会
全国私立学校教職員組合連合(全国私教連)**

連絡先：3264-8011